

目次：

まえがき

註

本書を読み解く上でのキーワード

はじめに

1：人類学的形質

2：倭国への流入と吸収、九州

3：倭国へのルートと船舶

4：海人とヤマト王権、そして越国

註

1．硬玉（翡翠）を巡る韓半島と越国との交流

1－1：硬玉産出地を巡る謎

1－2：越国に見る渡来人の痕跡

1－3：硬玉と東アジア、そして奴奈川姫、海人

1－4：夜明珠の謎

1－5：硬玉と韓半島、そして製鉄技術（者）の

越国への渡来

註

2. 越国と韓半島

～日本書紀に見る交渉の様相、高句麗迄～

2－1：越国周辺地域に残る韓半島の痕跡

2－2：韓半島の人々との出会い

2－3：高句麗と倭国、そして窓口としての越国

2－4：倭国の外交に於ける越国の立場

2－5：度重なる高句麗船の来着

註

3. 越国と韓半島

～続日本紀に見る交渉の様相、渤海国の場合～

3－1：倭国にとっての日本海・渤海ルートの存

在と危機管理

3－2：渤海船の思惑と内向きな倭国

3－3：渤海船と日本海航行

3－4：裏口としての越国ルート

3－5：倭国に依る唐、新羅牽制策と渤海ルート

3－6：「安置」、「供給」と「客館（院）」、

「便處」

3－7：奈良末期～平安初期にかけての「渤海及鉄利」

註

4．新羅国の文武王と倭国

～文武王の海中王陵に見る対日観～

4－1：倭国と新羅国

4－2：日本に残る新羅国の足跡

4－3：文武王の遺詔

4－4：最初の火葬と仏教

4－5：文武王の海中陵

4－6：文武王陵碑に関して

4－7：文武王の葛藤

註

5．吾妻鏡に見る高麗国と越後国

5－1：謎の高麗船漂着

5－2：木造船と北陸地方

5－3：高麗船と寺泊浦

5－4：鎌倉幕府と高麗国

5－5：竹ヶ花集落と高麗船

5－6：銀簡の研究

5－7：高麗船の齎した問題

註

6．文禄の役（壬辰倭乱）に際しての越後国と韓半島

～覚上公御書集に記録された上杉氏と韓半島～

6－1：豊臣秀吉の渡韓構想

6－2：豊臣秀吉の対東アジア構想

6－3：豊臣秀吉の軍事行動

註

おわりに

註

あとがき

註

参考文献表

初出一覧

注記

附記

著作者略歴

廣告

奧付